

科目名「歯科保健指導論Ⅲ」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	岡元 明菜
科目ナンバリング	C-9-⑦-I-21	
単位数	2	
学修目標 (G I O)	実際の患者診療に向け医療面接の技術を修得し、エビデンスに基づいた歯科保健指導を身につける。	
担当教員	石橋、門脇、和田、中澤、岡元、鷹巣	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版(株) 『改訂歯ブラシ辞典』学健書院 『オーラルヘルスケア辞典』学健書院 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』	
参考図書	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版(株) 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』医歯薬出版(株) 『歯肉を読む』クインテッセンス(株)	
評価方法 (E V)	定期試験(第15回 授業内平常試験)100点満点とし、これに授業参加状況等を考慮して総合的に評価する。	
学生への メッセージ オフィスアワー	質問は授業終了後か教員室へ来てください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	歯科衛生調査法Ⅱ	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 * 勉学向上の精神を持ち、将来的に学会発表に至る経過を修得すること。 【行動目標(SBOs)】 テーマを決定する。 調査計画を作成する。 担当の先生とコンタクトを取る。 仮説を立て、予備調査を行う。 【準備学修項目・時間】 予習: 1年後期配布プリント確認、歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章(20分) 復習: 授業内配布プリントの内容を理解する。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有: ディスカッション 【学修方略(LS)】 グループワーク	* 石橋 * 岡元

<p>第2回 4/13</p>	<p>患者対応法</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 患者対応で必要となるコミュニケーション能力を養い、相手に好印象を持たれる要素を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 言葉遣い、態度、表情など好感をもたれるポイントを理解する。 患者さんへの適切な対応方法を理解する。 信頼関係を気づくための態度を修得する。 行動変容の過程について述べるができる。 【準備学修項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第3回 4/20</p>	<p>医療面接の とらえ方</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 医療面接の目的や必要性を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 医療面接と問診の違いを説明することができる。 情報収集の方法を説明することができる。 信頼関係を確立するためのコミュニケーションについて理解する。 【準備学修項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章(20分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>情報収集の方法</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 相互実習で患者さん役から得た情報を業務記録に記載する。 【行動目標 (SB0s)】 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 患者さんから得られる情報の種類を推論することができる。 患者さんから得られた情報を業務記録に記載することができる。 【準備学修項目・時間】 予習：新歯科衛生士教本歯科診療補助。(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>

<p>第5回 5/11</p>	<p>業務記録について I</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 業務記録の目的・必要性を理解し、法的位置づけについて学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 業務記録を作成する目的を理解する。 業務記録の必要性を理解する。 SOAPIEについて理解する。 業務記録の保管について理解する。 【準備学修項目・時間】 予習：新歯科衛生士教本歯科診療補助 (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。 (30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第6回 5/18 第7回 5/25</p>	<p>歯科保健指導の 実際</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 症例患者の情報を基に、歯科保健指導を行う。 【行動目標 (SBOs)】 問題点を列挙することができる。 問題に対する改善策を述べることができる。 適切な口腔清掃用具を選択することができる。 患者さんの生活背景を分析することができる。 適切な保健指導を行うことができる。 【準備学修項目・時間】 事前に症例を提示しますので、症例患者の情報を把握してください。 (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。 (30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*岡元</p>
<p>第8回 6/1</p>	<p>歯科衛生教育</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 公衆衛生現場における衛生教育の目的を知り、歯科衛生士の活躍の場面、役割、活動内容、多職種との連携を学ぶ。特に幼稚園児に対する歯科健診結果に伴う衛生教育について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 幼稚園実習 (歯科検診・フッ素塗布) の知識を身につけることができる。 幼稚園児の口腔内の特徴を理解することができる。 保護者への指導方法を身につけることができる。 【準備学修項目・時間】 予習：1学年後期に学修した乳幼児期について復習しておくこと。 (30分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。 (20分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>

<p>第9回 6/8</p>	<p>公衆衛生現場における 歯科衛生士の役割</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保健センターに勤務する歯科衛生士の役割と現場で行われている事業について理解し、修得する。 【行動目標 (SBOs)】 地域住民の健康を支援する歯科衛生の必要性を理解することができる。 保健センターに勤務する他職種との連携を理解することができる。 保健センターで行われている事業について理解することができる。 【準備学修項目・時間】 予習：保健センター臨地実習に関する資料を復習しておくこと。(15分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第10回 6/15 第11回 6/22 第12回 6/29</p>	<p>歯科衛生過程 I・II・III</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生過程の必要性を理解するために、事例を用いて活用方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 歯科衛生過程の目的を述べることができる。 SOPIEについて理解することができる。 8つのヒューマンニーズを分類することができる。 歯科衛生診断の立て方を理解することができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。 歯科衛生診断を立てることができる。 長期目標・短期目標を立てることができる。 【準備学修項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学修方略 (LS)】 講義・グループワーク</p>	<p>*岡元</p>
<p>第13回 7/6 第14回 7/13</p>	<p>歯科衛生調査法 III・IV</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生調査の目的・方法を理解し、グループごとにテーマを決定し作業を行う。 *将来的に勉学向上の精神を持ち、学会発表に至る経過を修得すること。 【行動目標 (SBOs)】 調査計画の再検討を行う。 調査結果から今後の展開を考察する。 【準備学修項目・時間】 予習：歯科衛生士教本『歯科保健指導総論』4章(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有：ディスカッション 【学修方略 (LS)】 グループワーク</p>	<p>*石橋 *岡元</p>

第15回 7/20	平常試験	第1回～第14回の授業内容から出題する。	*岡元
--------------	------	----------------------	-----